

心に残る文化財子ども塾 奥出雲町立布勢小学校

1. 活動の概要

5月14日(火)、奥出雲町立布勢小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。古墳や埴輪について学習し、体験活動に「はにわ作り」と「火おこし体験」を実施しました。はじめに古墳や埴輪についてについて島根県埋蔵文化財調査センターの職員が視覚資料などを使用して解説をしました。島根県の遺跡の状況や古墳の大きさ埴輪の解説などとともに、布勢小学校区内の古墳の紹介、常楽寺古墳の埴輪の話をしました。布勢小学校にある縄文土器や埴輪のレプリカ 20あまりを教室内に展示し、縄文土器と埴輪を時代ごとに分類して見せて、いろいろな土器や埴輪の形があることを認識してもらいました。

個別配布の埴輪作成手順をもとに、今回使用する素材粘土の特性や工具の解説をして、古墳時代の素材や作り方ではないことを知らせた上で、展示したレプリカや資料を参考にして、児童の皆さんにそれぞれの埴輪のモチーフ、形を決めてもらい、制作に取りかかりました。制作中は、制作段階ごとに、個別に指導、助言して、極端に工程の遅れないように配慮しました。設定した時間内に制作と片付けが終わり、成形した埴輪を乾燥場に陳列しました。

後半は火おこし体験です。小さな杵と臼の木材どうしの摩擦によって火種を作り、もぐさに移して着火し、麻の繊維など燃えやすい材料にとって発火燃焼させるところまでを目標に取り掛かります。杵を回転させて臼で受けて摩擦し、火種を生み出すまでが集中力と根気を必要とする場面です。杵をぶれることなく臼に当て続けることは難しい。器物があたってけがをしないように 2～3 人の仲間で杵を回転させる人を励まし、応援し、手伝って、一度、二度と成功する組が続出しました。

2. 活動の様子

1)古墳や埴輪について知ろう



布勢小学校所蔵埴輪のレプリカを陳列

2)古代体験活動～埴輪作り～



手順に従って埴輪を制作中



成形した埴輪を乾燥中

3)古代体験活動～火おこし体験～



発火まで成功

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・布勢や奥出雲、島根県にたくさんの遺跡があることを知って驚いた。
- ・埴輪を作っているうちにいろいろやりたいことが出てきて、はじめ考えていたものとは違う埴輪ができた。
- ・火おこしは、まいきりを反動で回す人と火切り臼を押さえる役の人と協力したりしてみんなで頑張った。

2)担任の先生から…

- 事前準備で、座学や埴輪作り、火おこしの2種類の体験活動の具体的な様子がわかり、使用を予定していた教室を変えた。また、新たな場所を確保した。それらの導線と機材の搬入を時程を考えながら計画することができた。
- 座学で、地域の古墳をはじめとする遺跡のようす、遺跡数や分布状況を示したことで、児童の関心や興味が高まった。
- 埴輪作りや火おこし体験は学校行事の中では十分な用意ができず、専門機関に器材や材料などを十分準備してもらって実施できたことはよかった。

3)埋文センターから

布勢小学校に埴輪や縄文土器のレプリカがあったので児童の皆さんの理解の助けになったと思います。形象埴輪の人物形に偏って制作されたのは仕方ない面もあると思います。せめて、タガを巡らせて埴輪らしさを演出することで、ただの人形制作にならないように提案してみました。教職員の皆さんの熱心な指導で極端に工程の遅れる人がいなかったことはよかったと思います。

火おこしは、最初のセンター職員のデモでは、火切り杵の小型化によって不具合が生じたのではないかというくらい不調でしたが、児童の皆さんの集中力、頑張り、教職員の熱心な指導で、発火まで成功する組が続出しました。充実した体験活動になったと思います。